

平成 28 年度
事業報告書

公益財団法人国際平和機構

公1 環境教育事業

平成28年度の公1環境教育事業の事業計画は、内閣府からの指導に従い、予て実施していたモンゴル環境教育事業として、モンゴル国の学校に対し環境教育に寄与する品物の寄附を計画し、かつて交流のあった、ウランバートル在住の新モンゴル学校理事長、モンゴル・クーリーロータリークラブ（商工会議所）理事ガルバドラッハ氏等と調整を行ったが、その他モンゴル在住日本人などとのチャンネルがなくなったため、実施することができなかった。

本年度実施した事業は、環境教育事業として、

1. 平成28年11月4日～6日台湾・台北で開催された The 2016 International Conference on Civil, Architecture and Environmental Engineering に参加し、

「Detecting Collapsed Houses from Image Data for Estimating Amount of Disaster Debris」を発表した。（附属明細書1）

主催：Taiwan Society of Construction Engineers、中国科技大学

場所：中国科技大学

本国際会議は、世界中の土木工学、建築工学、環境工学での教授、研究者、学者、学生、事業者が集まり、新しい研究や技術の議論をする場所を提供している。

2. 平成28年11月9日～11日中国・香港で開催された The 9th Asia-Pacific Landfill Symposium に参加し、「Development of Disaster Waste Management System」を発表した。（附属明細書2）

主催：The Landfill System & Technologies Research, Association of Japan、香港大学

場所：香港大学

本シンポジウムは、アジア太平洋地域における、研究、政策決定、産業廃棄物事業者間の問題を議論するための主要な国際会議である。世界的な環境持続可能性の視点から、廃棄物の管理問題を解決することが主題となっている。法律、事業、廃棄物収集と搬送、資源リサイクル、廃棄物管理（生物学的処置、熱の処置、埋立地の再利用、ゴミのエネルギー転化、危険な廃棄物管理）などが含まれている。

公2 文化交流事業

平成28年度の公2文化交流事業は事業計画として、平成29年1月～2月にフォーラムを開催する予定であったが、2月15日の内閣府による立ち入り検査の準備、及び3月の事務所移転の準備のため2月までには実施できなかった。

本年度実施した事業は、文化交流事業として、

3月28日、理事の菅澤喜男氏（元日本大学教授、元日本経済大学教授）による「知的社会で産廃業界は何を考えるか」と題した、講演会を実施した。（附属明細書3）

日時：平成28年3月28日（火）

場所：財団大会議室

参加費：無料

参加者は、日本経済大学を中心とした、大学と大学院生、および、産業廃棄物処理事業関係者36名の参加があった。